

陸 軍 省

本署は米陸軍第八軍司令部の要求により我が国領二十
二年十月在米演習司令部に於て本ら我が國の記帳に注意を
喚びしものである
尚本署は我が書いた原簿を演習本部に提出した原簿中の
字を合入である

昭和廿五年六月十八日

岡 本 重 雄

1195

目次

序

本書記載者ノ履歴

一、全作戦経過ノ概要

1. 米軍上陸前
2. 一九四五年一月上旬—二月上旬
3. 一九四五年二月中旬—三月上旬
4. 一九四五年三月上旬—六月上旬
5. 一九四五年六月下旬—中旬
6. 一九四五年六月下旬—終戦
7. 終戦後

二、編制、装備ノ概要

1. 師団司令部
 2. 戦車第三旅団司令部
 3. 戦車第六聯隊
 4. 戦車第七聯隊
 5. 戦車第十聯隊
 6. 機動歩兵第二聯隊
 7. 速射機銃
 8. 機銃砲兵第二聯隊
 9. 丁兵隊
 10. 通信隊
 11. 補給隊
 12. 整備隊
 13. 物資收容隊
- 三、作戦経過
1. 作戦任務
 2. 各部隊ノ配置
 3. 作戦経過ノ概要(戦前及作戦開始時ノ隊ノ)

(1) 軍事ノ事情

(2) 軍事ノ事情

(3) 軍事ノ事情

(4) 軍事ノ事情

(5) 軍事ノ事情

(6) 軍事ノ事情

四. Kawanai, Jindagan 及 S. Jose 附近ノ戦況 (一九四五年一月九日 -

二月十五日)

1. 概況

2. 一月九日 - 一月二十日

3. 一月二十一日 - 二月十五日

(1) Shigang 方面

(2) 戦況

4. 本報作戦ニ於テノ参考事項

(1) 戦況

(2) 戦況

(3) 戦況

(4) 戦況

五. Davao 附近ニ於テノ戦況 (一九四五年二月十五日 - 三月十五日)

1. 概況

2. 戦況

(1) 新編成ニ依リ主要部隊ノ兵力

(2) 作戦方針

(3) 戦況

六. Salacaca 方面ノ戦況 (一九四五年三月四日 - 六月五日)

1. 概況

2. 本報作戦ニ於テノ増加部隊ノ兵力

(1) 人員

(2) Salacaca 城ノ戦況

(3) Salacaca 城ノ戦況

(4) Salacaca 城ノ戦況

○. Imgas 附近ノ遺蹟

④. Su-Maria 遺跡

- ①. 一九四五年三月四日 - 三月三十一日
- ②. 一九四五年四月一日 - 四月三十日
- ③. 一九四五年五月一日 - 六月五日
- ④. 本制作業ニ於ケル参考事項

- (1) 概力
- (2) 測量法
- (3) 補給
- (4) 積荷
- (5) 其他

七. 附近ノ遺蹟 (一九四五年六月六日 - 六月十九日)

- 1. 概要
- 2. 概力
- (1) 人員
- (2) 兵隊

3. 測量法

4. 本制作業ニ於ケル参考事項

- (1) 概力
- (2) 測量法
- (3) 積荷
- (4) 其他

八. Antipry 遺跡 (一九四五年六月二十日 - 六月二十五日)

- 1. 概要
- 2. 測量法
- 3. 本制作業ニ於ケル参考事項

- (1) 概力
- (2) 測量法
- (3) 積荷
- (4) 其他

九、本件既經結案、故其ノ關係的資料事項

- 1. 作廢事項
- 2. 作廢實施
- 3. 其ノ他

附 圖

- 一、 膠州第二團團作廢經過一覽圖
- 二、 米軍上陸前ニ於テハ膠州第二團團ノ態勢
- 三、 一九四五年一月二十日頃ニ於テハ膠州第二團團ノ態勢
- 四、 一九四五年二月三日頃ニ於テハ膠州第二團團ノ態勢
- 五、 一九四五年三月十日、三月二十五日ニ於テハ膠州第二團團ノ態勢
- 六、 一九四五年四月末ニ於テハ Salween 第二特附近ノ状況
- 七、 一九四五年五月下旬ニ於テハ Toung 附近ノ状況
- 八、 一九四五年六月十五日前後ニ於テハ Salween 附近ノ状況
- 九、 一九四五年八月中旬ニ於テハ膠州第二團團ノ態勢

序 頁

本書ハ一九四五年「昭和二十年」ニ於ケル「東洋第二編」ノ作製ヲ由リシ

ヲ記憶ニ基キ記載ナルモノアリ

一九四七年十月

慶 原

1200

一、全作戦経過ノ概要(附圖ニ参照)

1. 米軍上陸前

（注）
（注）の傍に

師團ハ一九四四年八月ヨリ十月ノ間ニ滿洲ヨリ轉進シ米軍上陸直
前迄ハ Central Salween ニ集結シ作戦ヲ準備シタ。

2. 一九四五年一月上旬一二月月上旬

(1) 一九四五年一月米軍ノ Hingayon 上陸メニヤ S. Samuel, Dalangan 方
面ニ前進シ、次テ米軍ノ進出ニ從ヒ Dalangan 及 S. Jose, Kuan
ヲ解テ Hual 百餘ヲ占領シ激戦シタ。

(2) 此ノ作戦ノ時敵ハ師團ノ全戦車ヲ使用シ其ノ作戦ノ終期ニハ殆
ンド大部ノ戦車ト火砲トヲ失ツタコトアル。

(3) クラック方面ニ居タ一部ハ他兵團ニ配屬シテ其ノ方面ヲ防衛シ
タ爲、細部ハ不明アル。

3. 一九四五年二月中旬一三月上旬迄

師團ハ Bagak 附近ニ進駐シ一掃師團ニ改メタ。

4. 一九四五年二月上旬一六月上旬

(1) 一九四五年三月上旬 Salween 時ノ戦況ガ不利ニナツタノヲ師團
ハ其ノ方面ニ進出シ半道邊野的ニ陣地ヲ占領シネバリ強イ野戦
ヲ以テ Salween 方面ヘノ進出ヲ阻止シタ。

(2) 此ノ作戦ノ時敵ハ幹部以下概メテ多数ノ人員ヲ失ツタガ山地ノ
特性ヲ利用シ臨時編成部隊ノ増加ニ依リ徹底的ニ抗戦シタコト
アル。

5. 一九四五年六月上旬一中旬

(1) Salween 地域ヨリ Salween ニ轉進シ同地ニ陣地ヲ占領シテ
及 Salween 方面ニ在ル米軍ニ對シ牽制ニ任ジ且背後連絡線ノ遮
斷ヲ企圖シタ。

(2) 此ノ作戦ノ時敵ハ機關兵器ハ各人携行シテ居ルモノベカリノ戦
闘アリ又 Salween ノ作戦テ人員ノ損耗ガ多ク十分ニ整理スル
コトガ出来ナカシタメマ戰闘シタコトアル。

6. 一九四五年六月下旬一終戦迄

(1) Salween ヨリ山岳密林地帯ヲ突破轉進シタ師團ハ七月七日

South
 Antipoloニ進出シ軍司令部ト直接連絡シ 105D 1
 西側地帯ニ陣地ヲ占領シ米 32D ト對戦中終戦トナツタ。 23D
 (2) 此ノ作戰ノ時敵ハ轉進間病氣ノ爲多數ノ死亡者ヲ出シ脚部ニ從
 事出來ル人員ハ備カトナリ且糧食モ兵器極メテ不足デアツタガ
 依前戦闘ヲ繼續シタ又長期抗戦ノ爲自活出來ル手配ヲシタコト
 アアル

7. 終戦後

終戦後軍命令ニ依リ九月十四日ヨリ十六日迄ノ間ニ Dong
 (Bagbag 西方約 5K)ニ進出シ米軍ニ收容セラレタ。

二. 編制・裝備ノ概要

此處ニ述ベル編制・裝備ハ比島作戰ノ初期ノモノアル

1. 師團司令部 人約四百名 戦車八輛

(師團長 **YAHYA** 中將)

2. 戦車第三旅團司令部 人約 50 名 戦車四輛

(旅團長 **SIGSANT** 少將)

3. 戦車第六聯隊

(聯隊長 **DA** 大佐) 人約七百名 戦車約六十輛

聯隊本部

第一乃至第五中隊

(1) 中隊 戦車 約十輛

(2) 第一中隊 戦車

第二乃至第四中隊 中戦車(47 耗砲)

第五中隊 中戦車(57 耗砲)

整備中隊(補給及修理部隊)

4. 戦車第七聯隊

(聯隊長 **YABDA** 中佐)

細部ハ戦車第六聯隊ニ同シ

5. 戦車第十聯隊

(聯隊長 **HARADA** 中佐)

細部ハ戦車第六聯隊ニ同シ

6. 機動歩兵第二聯隊 人約七百名 兵⁴⁷山砲⁵一四門

兵⁴⁷耗速射砲一二十一門

(聯隊長 TAKIYAMA 中佐)

聯隊本部

第一乃至第三大隊

一大隊ハ歩兵⁵中・M⁴⁹一中

(1) 歩兵中隊ハ3小隊(小隊ハ⁴⁷耗速射砲1ツ有ス)

(2) M⁴⁹中隊ハ3小隊(小隊ハ⁴⁷耗M⁴⁹4ツ有ス)

聯隊砲中隊(50山砲⁴ヲ有ス)

整備中隊

7. 速射砲隊 人約三百名 兵⁴⁷速射砲¹⁸

(隊長 ITIGAKI 少佐)

本部

第一乃至第三中隊

中隊ハ3小隊(各小隊ハ⁴⁷速射砲2ツ有ス)

整備中隊

8. 機動砲兵第二聯隊 人約千二百名 火砲³⁰門

(聯隊長 HATSUMA 中佐)

聯隊本部

第一乃至第三大隊

(1) 一ヶ大隊ハ砲兵⁵中隊(中隊ハ火砲⁴)

(2) 第一大隊ハ50mm 第一第三中隊(車引砲)

(3) 第二及第三大隊 75mm 第二中隊(自走砲)

105mm 榴弾砲(車引砲)

整備中隊 説明書¹ヲ以テ自分ヲ行進出来ル火砲ノコト

9. 丁兵隊 人約八百名

(隊長 YONEDA 少佐)

本部

第一乃至第六中隊

中隊ハ4ヶ小隊ニシテ内1ヶ小隊ハ装甲作業機³ヲ有ス

整備中隊

10. 通信隊 人約百二十名
(隊長 SUGANO 少佐)

11. 輜重隊 人約五百名
(隊長 KAWADA 大佐、後 ISHIDA 少佐)

本部
第一乃至第四中隊

整備中隊

12. 整備隊 人約五百名
(隊長 KAWADA 少佐、後 OHTSU 少佐)

本部

第一乃至第三中隊

13. 患者收容隊 人約百五十名
(隊長 CHEBA 少佐)

14. 合計 人約八千名

戦車約二百二十輛、火砲四十門、速射砲四十五門、自動
車約千五百輛

以上ノ内クラーク方面ニ Takayama 支隊ヲ Begolo ニ戦車ヲ中ヲ又
Appala 方面ニ戦車ヲ中ヲ派遣シテイタタメ船團トシテ行動シタ
兵力ハ夫ノ通りアツタ。

人約六千五百人、速射砲二十七門、戦車約二百輛、自動
車約千四百輛、火砲三十二門

三、作戦準備

1. 作戦任務

一九四四年二月ニ至リ船團ハ米軍ノ上陸直後 Lagayan 又ハ Sanila
方面ニ進出シ其ノ方面ノ他兵團ト協同シ米軍ヲ攻撃スルコトニ定
メラレタ。

2. 各部隊ノ配置(附圖ニ参照)

(1) Shigori 支隊ハ主トシテ Lagayan 方面ニ進出ヲ準備シタ。

(2) Ida 支隊ハ一九四四年二月下旬 Batangas 地域ヨリ Ida 附近ニ
集結シタバカリテ Sanila 方面ニ進出ヲ準備シタ。

(3)上記ノ二部隊ハ編成主力ノ同方面ニ進出スル場合ニハ夫々前衛
的任務ニ使用サレル予定デアリタリ。

(4)Salween方面ハクラーク地域ニ於テ防禦據點ノ設備ニ任ジタイ
タリ。

(5)其ノ他ノ部隊ハ Mangayak 及び Mandalay へモ速ニ進出出来タリ
タリ。

3. 作戦準備ノ程度(敵情及作戦資料ヲ除ク)

一 概ニハ比島ニ進出シテカテ期間ガ短カカマタ爲ニ不十分デアリ
タリ。昨ニ一九四四年十二月ニナツテ部隊ノ移動中軍用品ノ集積地
ノ變更ガナリ一層忙シクナツテ作戦ニハ十分ナル膠力ヲ發揮出来
ナカシタリ。

(1)地形ノ情報

Salween 方面ハ Mangayak 方面ニ比較的詳シク幹部以下偵察シテ
居タケレドモ其ノ他ノ部隊ハ概ク一部ノモノノ外殆ト出来ナイ
ナカシタリ。山嶺方面ハ全ク偵察ハシナイナカシタリ。

(2)交通路ノ整備

編成ハ Mangayak 方面ニ向ハ Mandalay 方面ニ進出スルニモ多クノ
川ヲ渡ラネバナラス其ノ難ハ想像サレルコトヲ予感シ比島ニ進
出以來殆ト濁力ヲ以テ交通路ヲ整備シテ從テ米軍ハ Mangayak
上陸シ編成方面ニ進出スル場合ニハ比較的困難ニ行動カ出
来タリ。

例ハ Ida 支隊ガ前進スル場合ハ Angat 川ガ降雨ノ爲増水シタ場合
ヲモ渡河スルコトガ出来タリ又 Mandalay トノ交通ノタメ Zarsoga
附近 Lada R. ノ橋ヲ修繕シナイアンカノプロレモ非常ニ狭ク立ッ
タリ。

(3)糧食ノ確保

Salween 方面ガ糧食上(ゲリヤ部隊ヲ含メ)及軍用ニ對スル自由
街ノ糧食確保ヲ確保シナイタ外他ノ部隊ハ予懸懸場ニ於ケル糧
食ヲ一ツモ確保シナイナカシタリ。コレハ交通路ノ整備ニ忙シク
人員ニ餘裕モナク且予懸懸場ヲ限定スルコトガ出来ナカシタリ爲
アリ。

(4) 其ノ他

a. 車輛ノ整備一九四四年一月末迄ニ完了シ、全車輛使用出來ル狀況ニナツタイタ。

b. 無線機電池ノ充電機ハ希望ノ數量ニハ達シナカッタ。

4. 教育訓練

一般兵團ニ比較スレバ現役者カ多ク且固有編成ア轉滿シテ來タ爲教育程度ハ良イ方アツタ。

比島ニ轉進後時ニ實施シタコトハ對艦車隊開法、斬込時ニ敵艦車ニ對スル潛攻機等アアツタガ徹底スル迄ニハイカナカッタ。

5. 作戰資材ノ集積

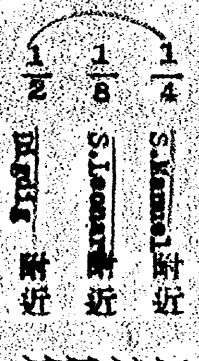
(1) 一九四四年一月末迄ニ S. Samar 及 Matagan 方面ニ師團保有量ノ

各上ヲ又 S. Samar 及 Matagan 集積シタガ二月中旬ヨリ North Inoa

ノ山地方面ニ集積換ヘラ給メタ爲ニ米軍上陸迄ニ全部ヲ移轉スル

コトハ出來ナカッタ。

(2) 米軍上陸時ニ於ケル集積狀況



(3) 集積量

砲兵彈藥(一門ニツキ)

加農 約一五〇〇發

榴彈砲 約一〇〇〇發

速射砲彈藥(一門ニツキ) 約八〇〇發

燃料 約一ヶ月分

爆藥 約二〇

(4) 以上ノ外車輛ノ部品ハ比較的多少準備シタガ衛生材料ハ海邊ニ其ノ補給ガ不十分アツタ。

四. S. Samar, Matagan 及 S. Jose 附近ノ戰況

(一九四五年一月九日—二月一五日)

1. 概要

一九四五年一月九日米軍 Lingayan へ上陸スルヤ船團ハ直チニ Agoo Pt. 兩岸地區ニ進出シ、Siguel 支隊先ノ襲撃ヲ開始シタリ。船團ハ主力ヲ以テ最初 S. Nicolas, Tayug, Umangan, Gonzalez, Lupao へ進出シタガ米軍ノ前進スルニ従ヒ逐次兵力ヲ南方ニ移シ一月末ニハ Umangan 及び OT 支隊ヲ交ヘ次ヲ二月六日ヨリ軍命令ニ依リ逐次山嶺内ニ撤退シ二月二十五日頃 Dajab 附近ニ集結シタリ。

此ノ襲撃ヲ船團ハ戦車ノ殆ト大部(九〇%)、火砲ノ大部(七〇%)、速射砲ノ全部、人員約二、〇〇〇名ヲ失ヒコレカラ後ハ船團トシテノ能力ヲ完全ニ失シタリ。

Siguel 支隊ハ此ノ作戦ノ初期ヨリ船團カラレ中期以後は船團ニ復讐シタリ。

2. 一月九日—一月二〇日(附圖三参照)

(1) 米軍上陸スルヤ Siguel 支隊ハ OT 船團ヤシ、Binalonan, Erdaneta 附近ニ於テ前進スル米軍ヲ交戦シタリ。

船團主力ハ Agoo Pt. 兩岸地區ニ進出シ船團ヲ襲撃メ入チ軍命令ヲ受ケ一月九日ヨリ夜間機動ニ依リ逐次北進シ一月十四日頃 S. Nicolas, Tayug, S. Quintin, Umangan, Gonzalez 及 Lupao へ集結シ進出シ進撃ヲ準備シタリ。

(2) 一月二〇日ニ於テ船團ノ襲撃作戦ニノ如シ

3. 一月二二日—二月二五日ノ状況(附圖四参照)

(1) Siguel 支隊

Siguel 支隊ハ約一ヶ箇月ノ米軍ニ對シ極力襲撃ヲシタガ猛烈ナル砲撃、海軍ノ襲撃逐次兵力ヲ減少シ一月二三日以降マシタリ。マシタリシニ死守(死メ死守)シナイタガ一月二十七日夜米軍隊以下谷原又襲撃マシテ OT 船團ヲ襲撃メ入チ全隊ハ此ノ地ノ船團ハ完全ニ奪イシタリ。

(2) 船團主力

Siguel 支隊ノ襲撃及米軍ノ前進ニ従ヒ船團ハ新リマシタリ。

式ニ使用シ砲車ヲ陣中ノ要點ニ配置シテ陣中ノ各隊トシ他ノ砲
隊部隊ヲ以テ其ノ缺陥ヲ補ツタ。
空軍ノ支援ナキ砲車陣中ハ實ニ後目ナモノナラズ。然シ我軍
ヲ擔任シテ防禦任務ハ約〇チ一ヶ月近ク期間ヲ経過スルコトガ
出来タノハ砲車ノ特長ヲ發揮シタモノト思フ

(2) 諸兵種ノ協同

前記ハ平時ヨリ諸兵種ノ協同ヲ重視シ常ニ協同演習ヲ實施シテ
居タノヲ協同協結ハ良好ナラシメタ。然シ此種協同有ノ歩兵部隊
アル機動歩兵第二聯隊ノ主力ヲクラーク地區ニ分離シテ
作戦ノ際之ヲ掌握スルコトガ出来ナカシタ。若シコノ部隊ガ
タラシヨリ一層有利ニ戦場出來タモノト思フ。從テ作戦ノ開始ヨ
リ歩兵力少ク困ツタ。例ハバ Stead 支隊ノ Samuel ノ防禦ヲ
其ノ北側高地ニ配置スル歩兵ガナクヨノ方面ヨリ米軍ニ包圍セ
ラレタコトヤ S. Jones ノ守備ニ師團固有ノ歩兵ヲ使用スルコトガ
出来ヌ S. Jones 念ニ攻時サレタ。

(3) 損害

此ノ期間ノ戦場ヲ予ニ記シテ進リ幹部以下多数ノ人員、砲車ノ
殆ンド全部、大砲ノ大部ヲ失ヒ大ナル損害ヲ受ケタ。

人員 約二、〇〇〇名

佐官以上(大隊長ノ尉官ヲ含ム) 八名

砲車 約一八〇輛

大砲 二四門

速射砲 二七門

自動車 約五〇〇輛

(4) 其ノ他

連絡ハ無線ニ依リ軍司令部、各部隊間ニ通信シ大体ニ於テ良好
シタガ最モ大切ナ時不達トナリ聯絡ナシ状況トナツタ。
二月一日頃カシ各部隊ト、又二月四日カラ軍司令部トノ無線
通信ガ不良トナツタ。從テ各部隊ニ對シテハ徒歩得會ヲ夜間ニ
派遣シテ連絡シテイタ關係ヲ戰機ニ關スル部隊ノ移動ガ出來ナ
カシタ。

例へば S. Jones に對シ米軍ノ一部ヲ侵入セテ來タ時 S. Isidro Harada

部隊ヲ同地ニ前進サシ據ニ手配シタガ一月過シタ二月四日ニ軍
ヨリ我師團ガ山内ニ轉進スル據ニ命令サレタガ師團ニ到着シ
タノハ二日過シ遂ニ最モ殊慘ナ状況トナッタ。
無補通信ノ不良ノ主要ノ原因ハ充電カ思フ據ニ出來ナカッタ。

トニナリ。

五、Dapax 附近ニ於ケル集結（一九四五年二月二十五日—三月二日）

1. 概要

我師團ハ平地ニ於ケル戰闘ニ依リ大ナル損害ヲ受ケ特ニ戰車師團
ノ能力ヲ失ツタノデ一般師團ニ添ズル編成ニ改メタ。

2. 戦力

戰車師團、連射砲隊及砲兵聯隊ノ大部ヲ夫々歩兵部隊ニ改メタ。
（ハ）新編成ニ依ル主要ナル部隊ノ兵力

師團司令部

約 三五〇名

歩兵隊

Rakushahi 部隊 (前) 6TK 13中 約 五〇〇名
Harada 部隊 (前) 10TK 14中 約 五〇〇名
Itagaki 部隊 (前) 13中 約 三五〇名

(後) Saga 部隊

砲兵隊 Matsuda 部隊 1大 約 五〇〇名
(後) Kamikatsu 部隊 1大 約 500名

工兵隊

Kotake 部隊 P4中 約 四〇〇名

通信隊

Sugano 部隊 約 一五〇名

輜重隊

Tajima 部隊 約 四五〇名

整備隊

Omano 部隊 約 四五〇名

患者收容隊

Ohba 部隊 約 一〇〇名

別ニ師團長直轄

約 二〇〇名

Tajigami 部隊 13中

約 三五〇名

合計

約 四三〇〇名

(2) 作戦器材

戦車 約 一〇輛

乗用作戦機 八輛

火 砲 7.5^{cm} 加農 七門

自動車 約 四〇〇輛

燃 料 戦車用ハ十分アツタガ自動車用ハ少シ

彈 藥 相當多量ニアツタガ但シ手榴彈ハ不十分

其 他 戦車ノ直観的ヲ導進ニ方リ移行シタ關係上、

歩兵中隊ハ約九挺ヲ持ツテイタ。

5. 教育訓練

戦車聯隊及砲兵聯隊ノ大部ハ新ニ歩兵戦團ヲ實施スルコトナリ。

之ガ教育ヲ開始シタガ三月上旬ニハ Salacaca ニ進出シタノデ十分

ニハ行カナカッタ。但シ此部隊ノ素質ガ良好デアツタノデ、ホバ

リ強イ戦團ヲ實施スルコトガ出来タ。

六、Salasac 其地獄へ歸す(一七四五年三月三日) (大田五郎)

ノ、海軍

①本國艦を於て(一)本國艦へ運送せしむる事

本ノ海軍艦ニシテ本國艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦
ノ海軍艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦ニ運送セシメ
本國艦(一)本國艦(一)本國艦 Salasac 本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

本ノ海軍艦ニシテ本國艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦
ノ海軍艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦ニ運送セシメ
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

本ノ海軍艦ニシテ本國艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦
ノ海軍艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦ニ運送セシメ
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

本ノ海軍艦ニシテ本國艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦
ノ海軍艦ヲ運送スル事ナラズ本國艦ニ運送セシメ本國艦ニ運送セシメ
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)
本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

Salasac 本國艦(一)本國艦(一)

Salasac 本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

Inad 本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

Fujikuro 本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)本國艦(一)

Edaka 大島 (徳島縣大島郡) 卷一五〇名
 11 徳島大島
 12 徳島大島
 13 徳島大島
 14 徳島大島
 15 徳島大島
 16 徳島大島
 17 徳島大島
 18 徳島大島
 19 徳島大島
 20 徳島大島
 21 徳島大島
 22 徳島大島
 23 徳島大島
 24 徳島大島
 25 徳島大島
 26 徳島大島
 27 徳島大島
 28 徳島大島
 29 徳島大島
 30 徳島大島
 31 徳島大島
 32 徳島大島
 33 徳島大島
 34 徳島大島
 35 徳島大島
 36 徳島大島
 37 徳島大島
 38 徳島大島
 39 徳島大島
 40 徳島大島
 41 徳島大島
 42 徳島大島
 43 徳島大島
 44 徳島大島
 45 徳島大島
 46 徳島大島
 47 徳島大島
 48 徳島大島
 49 徳島大島
 50 徳島大島
 51 徳島大島
 52 徳島大島
 53 徳島大島
 54 徳島大島
 55 徳島大島
 56 徳島大島
 57 徳島大島
 58 徳島大島
 59 徳島大島
 60 徳島大島
 61 徳島大島
 62 徳島大島
 63 徳島大島
 64 徳島大島
 65 徳島大島
 66 徳島大島
 67 徳島大島
 68 徳島大島
 69 徳島大島
 70 徳島大島
 71 徳島大島
 72 徳島大島
 73 徳島大島
 74 徳島大島
 75 徳島大島
 76 徳島大島
 77 徳島大島
 78 徳島大島
 79 徳島大島
 80 徳島大島
 81 徳島大島
 82 徳島大島
 83 徳島大島
 84 徳島大島
 85 徳島大島
 86 徳島大島
 87 徳島大島
 88 徳島大島
 89 徳島大島
 90 徳島大島
 91 徳島大島
 92 徳島大島
 93 徳島大島
 94 徳島大島
 95 徳島大島
 96 徳島大島
 97 徳島大島
 98 徳島大島
 99 徳島大島
 100 徳島大島

Yamashita 山手 (徳島縣山手郡) 卷一五〇名
 Kino 木野 (徳島縣木野郡) 卷一五〇名
 Tokunaga 徳島 (徳島縣徳島市) 卷一五〇名

計 卷一八六〇名

Salasano 佐良山 (徳島縣佐良山郡) 卷一五〇名
 Shirane 白根 (徳島縣白根郡) 卷一五〇名
 Kameda 亀田 (徳島縣亀田郡) 卷一五〇名
 Morishita 森下 (徳島縣森下郡) 卷一五〇名
 Yano 矢野 (徳島縣矢野郡) 卷一五〇名
 Kikunoi 吉野 (徳島縣吉野郡) 卷一五〇名
 Kijima 木島 (徳島縣木島郡) 卷一五〇名
 Bagulo 八幡 (徳島縣八幡郡) 卷一五〇名
 Ueyama 上野山 (徳島縣上野山郡) 卷一五〇名

Langun 浪速 (徳島縣浪速郡) 卷一五〇名
 Palatani 波佐 (徳島縣波佐郡) 卷一五〇名
 Sa. Kari 佐賀 (徳島縣佐賀郡) 卷一五〇名
 Kinomatsu 木松 (徳島縣木松郡) 卷一五〇名

Haruo 捕獲 (捕獲場所不明) 約二〇〇名
 Ishikawa 捕獲 (Saiwai 大森捕獲所) シンチ力ナシ) 約五〇名
 Kawamoto 捕獲 (捕獲場所不明) 約三〇名
 十 (Imgan 捕獲) 捕獲場所不明) 約六八〇名

捕獲 捕獲場所不明

捕獲

Salasac 捕獲 (捕獲場所不明) 約二〇〇名
 捕獲 (捕獲場所不明) 約二〇〇名
 捕獲 (捕獲場所不明) 約二〇〇名

一九四五年三月四日—三月三十一日 (捕獲場所不明)

①捕獲場所不明) Salasac 捕獲 (捕獲場所不明) Suzuki

捕獲 (捕獲場所不明) Salasac 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Salasac 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Imgan 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Imgan 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Imgan 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Imgan 捕獲 (捕獲場所不明)

捕獲 (捕獲場所不明) Imgan 捕獲 (捕獲場所不明)

② Harada 捕獲 (捕獲場所不明) Suzuki, Fujimoto, Imai

捕獲 (捕獲場所不明) Suzuki, Fujimoto, Imai

捕獲 (捕獲場所不明) Suzuki, Fujimoto, Imai

捕獲 (捕獲場所不明) Suzuki, Fujimoto, Imai

米軍ノ攻撃ノ猛烈ヲ三月二十五日第二陣ノ夜砲撃ニ著シ米軍ニ奪取
ナラシム

三月三十一日夜砲撃ノ猛烈ヲ一〇〇〇發(當時砲台が保有シテイタル
砲ヲシテハカナリ多量ヲイフ)ニ使用シ又 *Dagga* 山ニイキ
Isan 砲隊ノ二隊ヲ發射サセ *Temo* 山ノ奪回攻撃ヲ實
施シ成功シタケレド其間キナク猛烈ヲ砲撃シテ回復スルコトハ出来
ナカツタ、又米軍¹²⁾ノ一隊(約四〇〇名)ガ *Saun* 砲隊ノ東方ニ秘
カニ侵入シテ米軍ガ三月二〇日 *Sampel* 砲隊ノ海軍攻撃ヲ行ヒ徹
底的損害ヲ與ヘ之ヲ擊退シタ(此ノ砲隊ヲ由來シタ¹³⁾ 砲隊¹⁴⁾ハ其ノ
後砲撃ヲ砲台ヲ作ツテ盛ニ利用シタ)

(5)我砲台ト¹⁵⁾ノ砲撃¹⁶⁾ *Ping Pan* 砲隊スル道筋ガアリ常ニ此ノ方
面ヨリノ米軍ノ進出ヲ心配シテイタガ兵力カナタ軍ニ監視ノ監視ヲ
アツタ(米軍¹⁷⁾同シク兵力ガ不足ス此ノ方面ニハ進出出来ナカ
ト云フ事アリ)此ノ方面ニハ *Piang* 東北砲隊¹⁸⁾ *Kinmatan*
砲隊ガ守備シテイタガ三月二〇日我砲台ニ砲撃サレタ又 *Agoo H.*
上砲¹⁹⁾ *Isellana* 砲隊ガイタガ砲隊ノ兵力ナク三月二十五日
一五名ニメキナカマ

一九四五年四月一日(四月三〇日(附屬第六砲隊))

(2)四月ニ入ルキ米軍ノ砲撃²⁰⁾ノ激々²¹⁾四月六日 *Puj* 砲隊ガ火ヲ二
一日 *Wan* 廿一日 *Wan* *Saura* 及 *Uae* 砲隊ガ砲撃サレタ

(3)四月十四日 *Sunau* 砲隊ハ米軍ガ好戦攻撃カサレシガ隊四ノ砲
ヲシテ²²⁾砲撃ガス此ノ砲隊ハ森林地帯ヲマツタ海ニ米軍ハ本方
面ヨリ砲ヲ侵入シ砲撃ノ猛烈スルニ至ツタ四月二十七日有力ナル米
軍ノ一隊ハ第一陣ノ砲撃ヲマシ *hallo* 山ニ火ヲ三〇日第一陣ノ砲
撃砲²³⁾ *Silau* 山ニ攻撃シテハ砲撃ニ米軍ノ手中ニ入リタ

(6)砲台ニ於ケル *Salaosao* 方面ノ損害(三月中ニ於テ一砲平地ニ

〇一三〇名ヲアツタカ四月下旬ニ於テハ一周平均八〇一九〇名ニ達シ兵力ノ損害カ極メテ多クナツタ從テ四月中ニ Salacac 方面ニ増加シタ部隊ハ次ノ如シ

Kaneda	部隊
Kikandi	隊
Horakita	部隊
Kudjima	隊
別ニ直轄部隊ヨリ	124中

第一陣地區	

Shirane 部隊 - Salacac 第一陣東北側

河谷地區

(4) 陣圖ノ砲兵ハ次ノ機ニ使用シタ

(1) 一五。● 榴彈砲ハ Jagan 北方五〇〇● 河谷ニ陣地ヲ占領シ(● 砲場ヲ掘ツテ其ノ内蔵ヲ入レタ)又七ノ五。● 大砲砲ハ常用 Artiao 砲ニシテ方ヨリ機動砲 St. Po 北側ニ進出シテ機動砲場ヲ占領シタ

(2) 射撃ハ主トシテ夜間射撃ニ對シテ實施シタ其相當ノ效果セリナク四月ノ下旬ニ於テハ一五。● 榴彈砲ハ常用ニシテ射撃シタ四月二三日一門ハ破損サレタ然レモ七ノ五。● Cannon 八連ヲ米軍ニ投見サレタ射撃ヲ繼續シタ

(3) Jagan 山ニ屬シ Takahashi, Saga 部隊ヲ退スル所入ル所ヲ米軍背後ノ攻撃シタ又 Cori 山ニキキ Yamashita 部隊ハ四月二〇日頃 Suzume 陣地ヲ奪用サレ Cori 山(其ノ後ハ Faldgaut 部隊ヲ守備シ四月下旬ニハ米軍ノ一部ノ攻撃ヲ難過シタ

● 一九四五年五月一日—六月五日(附圖第七參照)

(4) 四月末 Salacac 陣ノ直轄ナル場所ヲ占領サレタ我陣圖ハ陣地

軍多大人損害ヲ興ヘカ

4 機關銃ノ取單M. 1907外シテ使用シタレハ多クツカノテ所有テアツ
ク(米D 52D)ノ獨立M. 大砲ガ配屬シテイルモノト考ヘル

(5) 捕虜

* 捕虜ハ全般的ニ取單メテ不十分デアリテ、特ニ取單ガ捕虜シテカマラ
前線ニイル部隊ニハ何モ捕虜スルコトガ出来ヌヘカ、リテナク、次ニ
述ベルモノハ足リナク、ナソク、取單ガ捕虜ニ苦心シタ
手信頭、取單頭、前線第一五〇、〇、〇、捕虜取單頭、Omito、等
取單作メテ使用シタレ、他ノ取單ヨリハ有利デアリマシ

(6) 損害

* 人員 約四六〇〇名

佐官(尉官ノ大隊長メカム)以上 一一名

* 兵隊 取單 一三三員

大砲 七(山砲二メカム)

(7) 其他

* Salacane 取單メ、山砲二口ノ使用シ、取單ガ使用シタレ、取單

取單 Imagan 山砲取單メ

* 取單頭ノ取單頭ノ取單取單取單メ、Sta. Fe - Imagan 取

單取單メ、取單メ、Pinglim 取單メ、取單メ、取單メ

メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ

Salinas 取單メ、取單メ(取單メ、取單メ)

(一六四四年六月六日一六月二九日)

ノ、取單

本取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ

取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ

Bato 取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ

Batang 取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ、取單メ

(1) 戦車ヲ先頭トシテ Salinas 迄ニ進出シテ
 (2) 六月一九日蘭國ハ Salinas 附近ニ海軍スベキ軍命令
 マ受テ同日夜ヨリ海軍ヲ進出シテ比ノ際 Ceylon 少將
 ノ指揮スル一團ヲ Salinas ニ進出シテ

(4) 本期作戦ニ於ケル被害事項

(1) 戦力

Salinas 附近ニ於テ多大ノ損害ヲ受テ之ヲ再編
 成スル餘裕ガナキモノナリ蘭國船モ不慮トナシテ又ハ兵隊モ著シ
 ク減少シテ大砲ノ進出ハ全無ナリナリ蘭國船隻損傷ノ甚クガ
 實數ナキモノトナシテ食糧ハ不十分ナリトナリテアツタ

(2) 戦法

前ニ述ベタル様ニ我軍國ノ状態ガ甚ナリ米軍ノ攻撃ヲ正面ヨリ
 受ケルトナリテイテ攻撃セシム心算ガアツタモノナリ蘭國ノ集結ヲ
 無力化シテバ Bang 又ハ Arlao 方
 面ハノ攻撃ヲ準備シテ
 山上ニハ全ク樹木ナク且軍艦ノ下ニ前進スル米軍ニ對シテ
 反撃ヲ出来ヌ又平地ニハ米軍前進スルノテコレヲ阻止スルコ
 トガ出来ナカシキ

(3) 損害

人員 約三〇〇名

(4) 其ノ他

米軍ガ六月下旬 Arlao ニ侵入シテ時間短縮シテイテ Salinas
 中佐(蘭國海軍軍官)ハ同地附近ニイテ我軍國ノ兵ヲ集メテ
 指揮シ新ニ Saadi 砲隊ヲ編成シ Kangan 砲隊ヲ編成シ
 Behnyan 砲隊ハ兵站部隊ヲシテ大部分ヲ臺灣人ヲ編
 成シ砲隊力ナク多數ノ兵ヲ具ヘテ持ツナイテ進取ト全圖ノ

牛島) 八幡館キムノミヨシ(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
Antipolo 牛島 三浦, Tablas 八幡館(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 八幡館(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島)
八幡館(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島)

④ 牛島(牛島) Bayakan 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) Antipolo 牛島(牛島) 三浦(牛島)
八幡館(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)

⑤ 島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)

Salinas 島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)

島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)

⑥ 島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)
島根(牛島) 上野(牛島) 島根(牛島) 三浦(牛島) 上野(牛島)

(a) 一々ノ船隻ヨリキル事ナキ

(b) Antipolo 此ノ船隻ヨリ本田カ比較的キカツキモノナキ

本館ニ各船隻ニ照会スルニ共ニ予知ノ機宜ヲ事無シキ

米穀ノ運出ニ係リ本館ニ照会セラルルモノナキ事無シキ

(c) 在キ心懸シキモノハ Salt チコレノ何處カチキモノナキコトハ

出来ヌレバ Salt 使用ノ最大限ニ制限シ一人毎毎日僅カ三

B エシキ、此ノ數チコレノ約六ヶ月ハ概行船輸出来ルコトナ

キツケイキ

(3) 運送

直接船キニ使テ船隻ハ少クテマツタケレバモ船ヲ運ムト運送ノ難事ナ

リテ死亡スルモノノ山積ナリ船隻ノ運送ノ難事ナリ船行困難ナリ

スルモノ方難シク多ク(詳細ニハ別紙ニシテ)一五〇〇名(セー)ノキ

船生死不明ノモノカ多數ナリ

本館ニ照会サレテ報告ノ長カク(詳細ニハ別紙ニシテ)一五〇〇名(セー)

ナキ

(4) 兵ノ運

(a) Salinas 兵運ニ係リ Dajava 兵隊ノ運送ノ難事ナリ

カマタカ運送シタモノノ運送ニ係リ

Dajava 兵隊 Salinas 兵隊 Bayambang

平地ノ兩側山麓ニ沿テ運送スル事難シク兵隊ノ運送ニ係リ

カマタカ Dajava 兵隊ノ運送ニ係リ

(b) 八月一日運送 Baylawa 運送ノ難事ナリ

カマタカ Caorl Tava 兵隊ノ運送ニ係リ

(c) 運送 Salinas 兵隊ノ運送ニ係リ

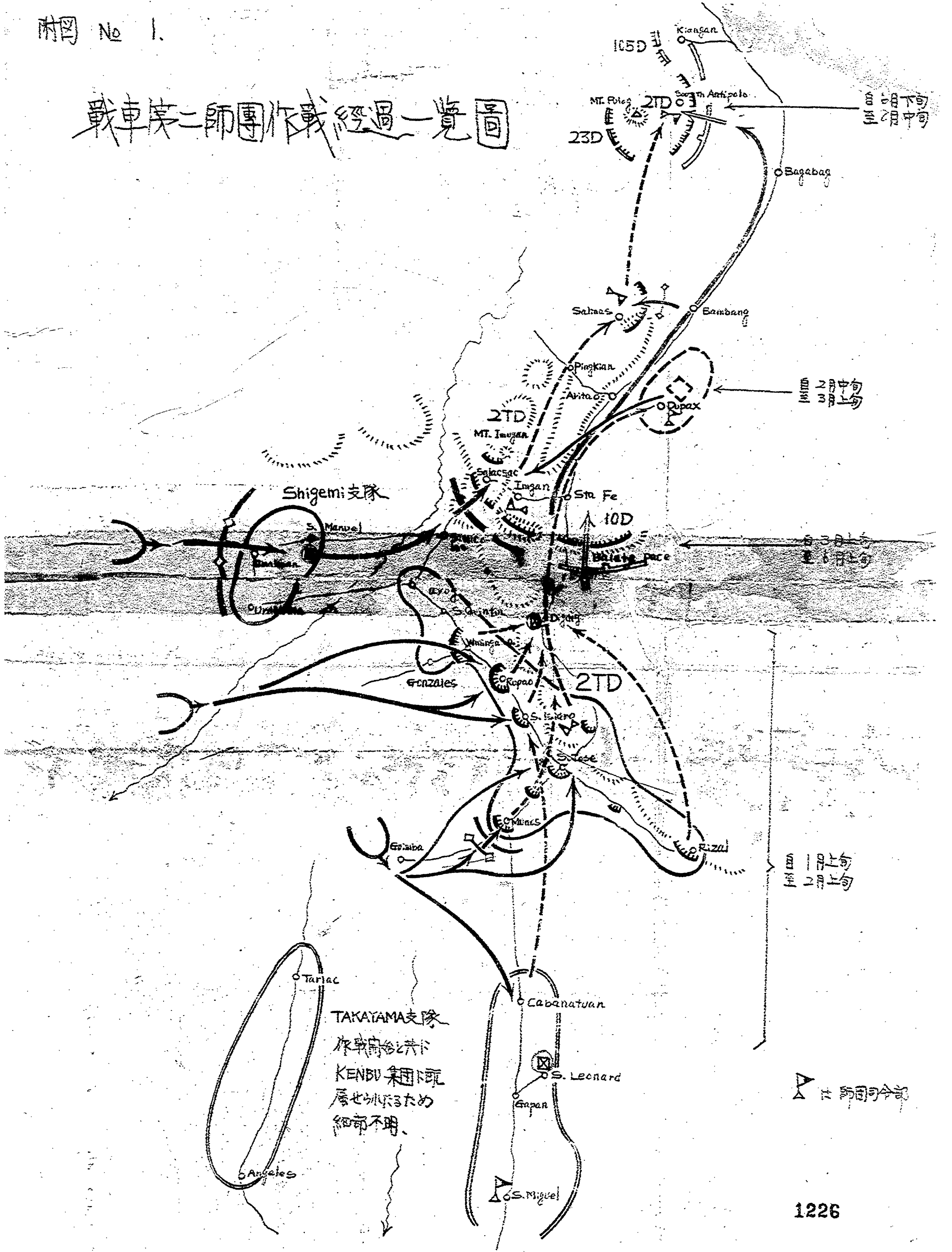
下知一部ノ運送ノ難事ナリ

手配ナシキ

ノ、船隻時及其ノ以後ノ状況

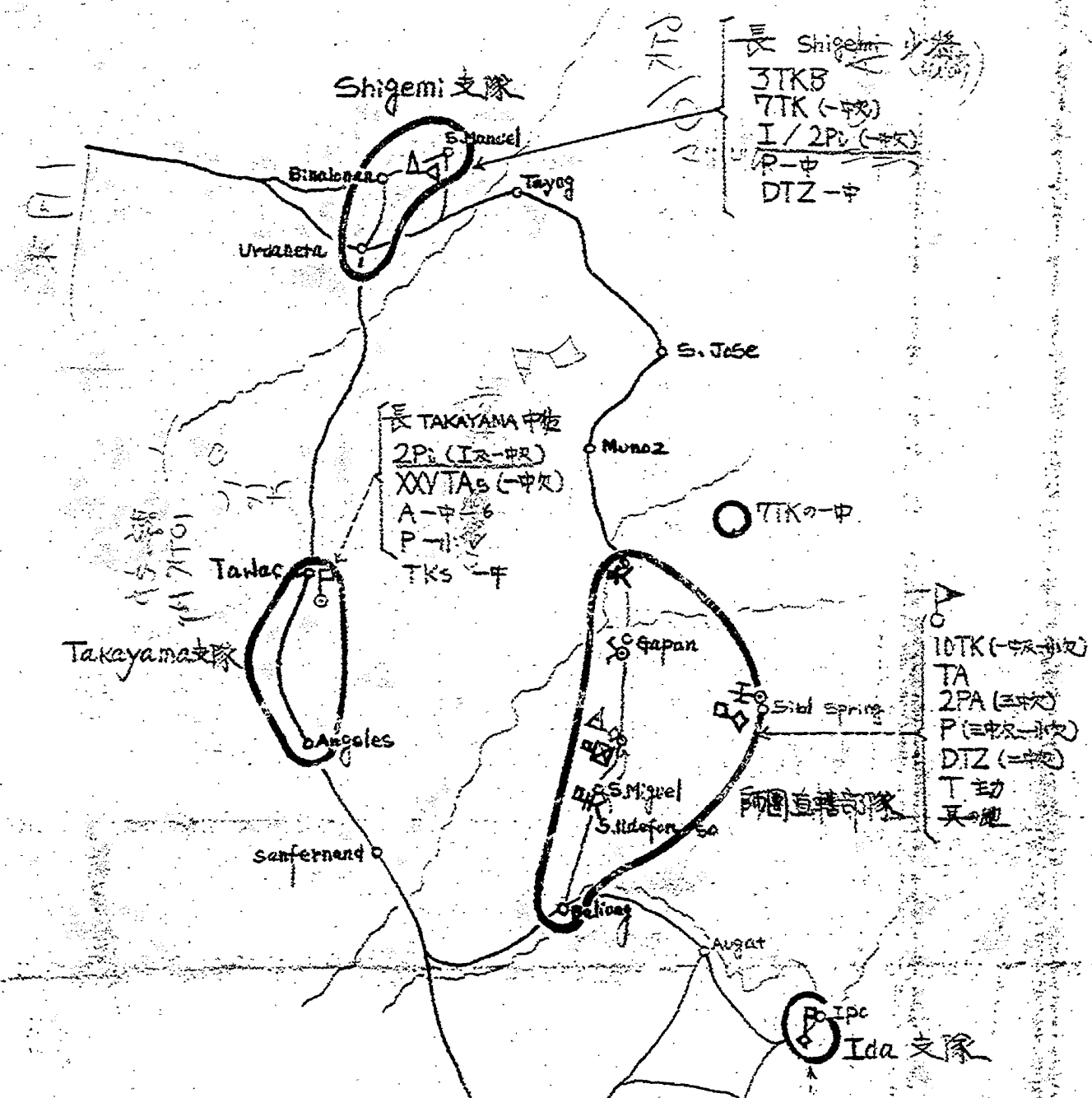
附圖 No. 1.

戰車第二師團作戰經過一覽圖



TAKAYAMA 支隊
 作戦開始時
 KENBU 集団下
 層に別れるため
 細部不明

米軍上陸直前に於ける戦車第一師團の態勢



1558

- ▲ 戦車師団司令部
- △ 戦車旅団司令部
- 戦車隊本部
- 歩兵隊本部
- 砲兵隊本部
- ✈ 航空隊本部
- ⚙ 工兵隊本部
- ⚙ 輜重隊本部
- ⚙ 師団看護隊本部

備考

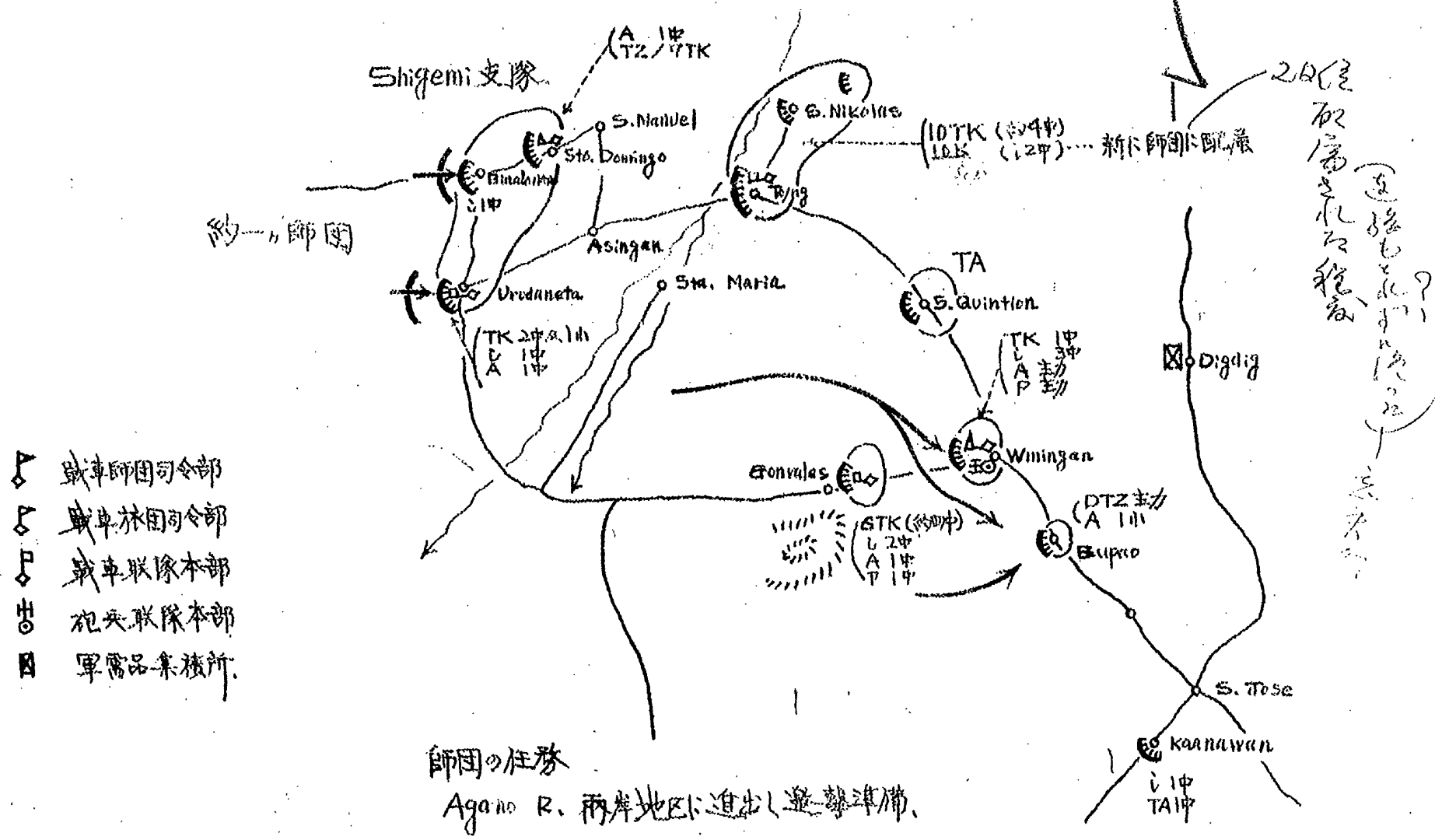
別に次の通り一部を派遣あり

- 10TKの中 Baguid
- 10TKの小 Bataan 半島
- Pの中 737 地区

長 IDA 大佐
 6TK
 2Pの中
 II / 2PA (中)
 P-中
 DTZ-中

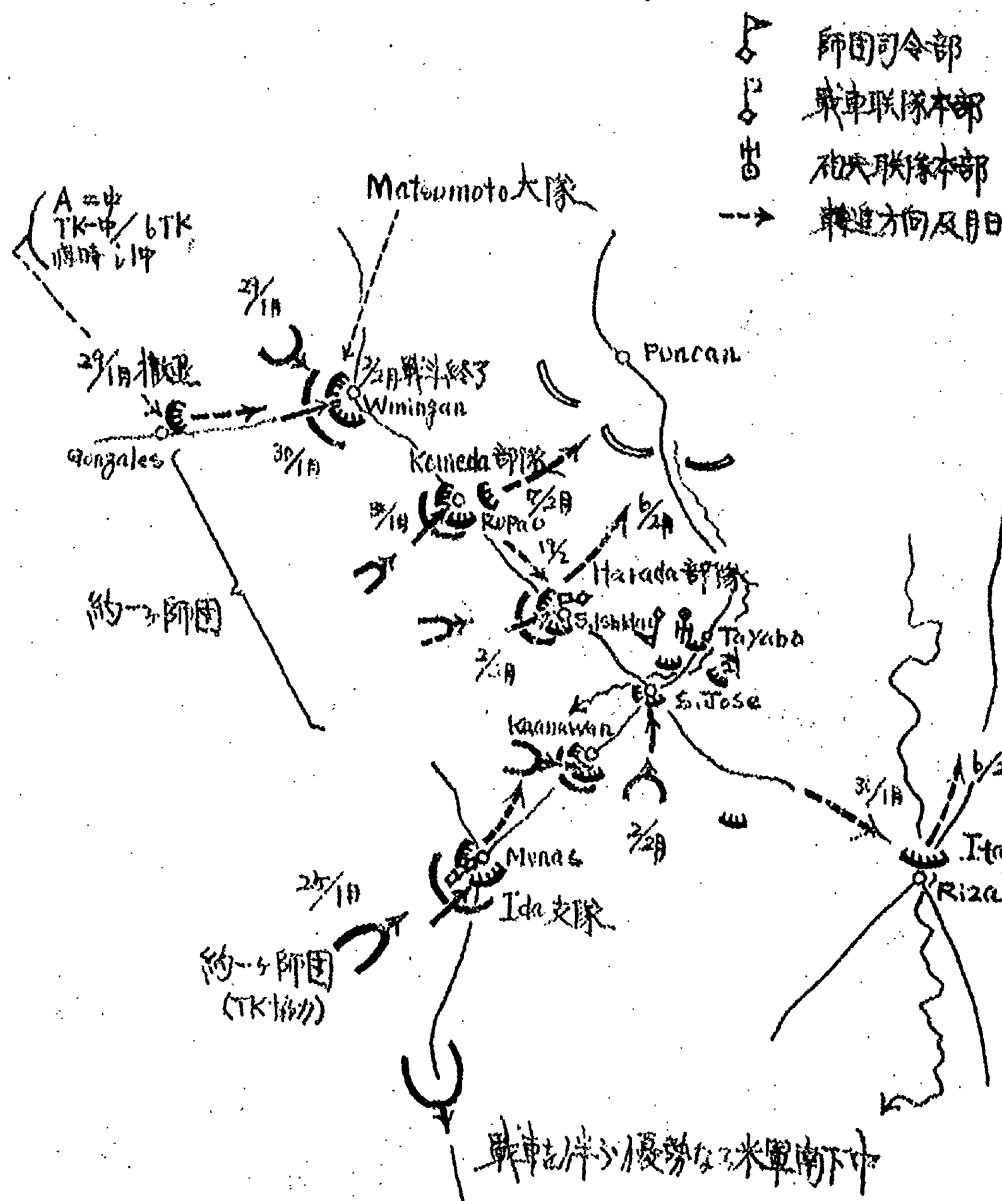
附圖 No 3.

1945年1月20日に於ける戦車第一師團の態勢



附圖 No. 4

二月三日における戦車第二師團の態勢



Umingan	⑤ 約3中
Rupao	TK 2中 i 2中 A 1中 P 1中
S. Isidoro	10 TK (TK 3中) --- 29/10 Tayog 中
Munus	BTK (TK 3中) --- 29/10 Gonzales 中 i 2中 A 1中 P 1中
Muna Kaawanan	TA 1中
Rizal	⑤ TK 1中 i 1中 TA 2中 A 1中 } --- 30/10 S. Quintin 中
Kitakita Tayabo	師団司令部 --- 30/10 Wumingan 中 A 2中 { 摩引式 1中 自走砲 1中 } --- 30/10 Wumingan 中
	⑤ i 2中 TK 1中

備考 ※は臨時に師団に配属せられたものを示す

附圖 No 5

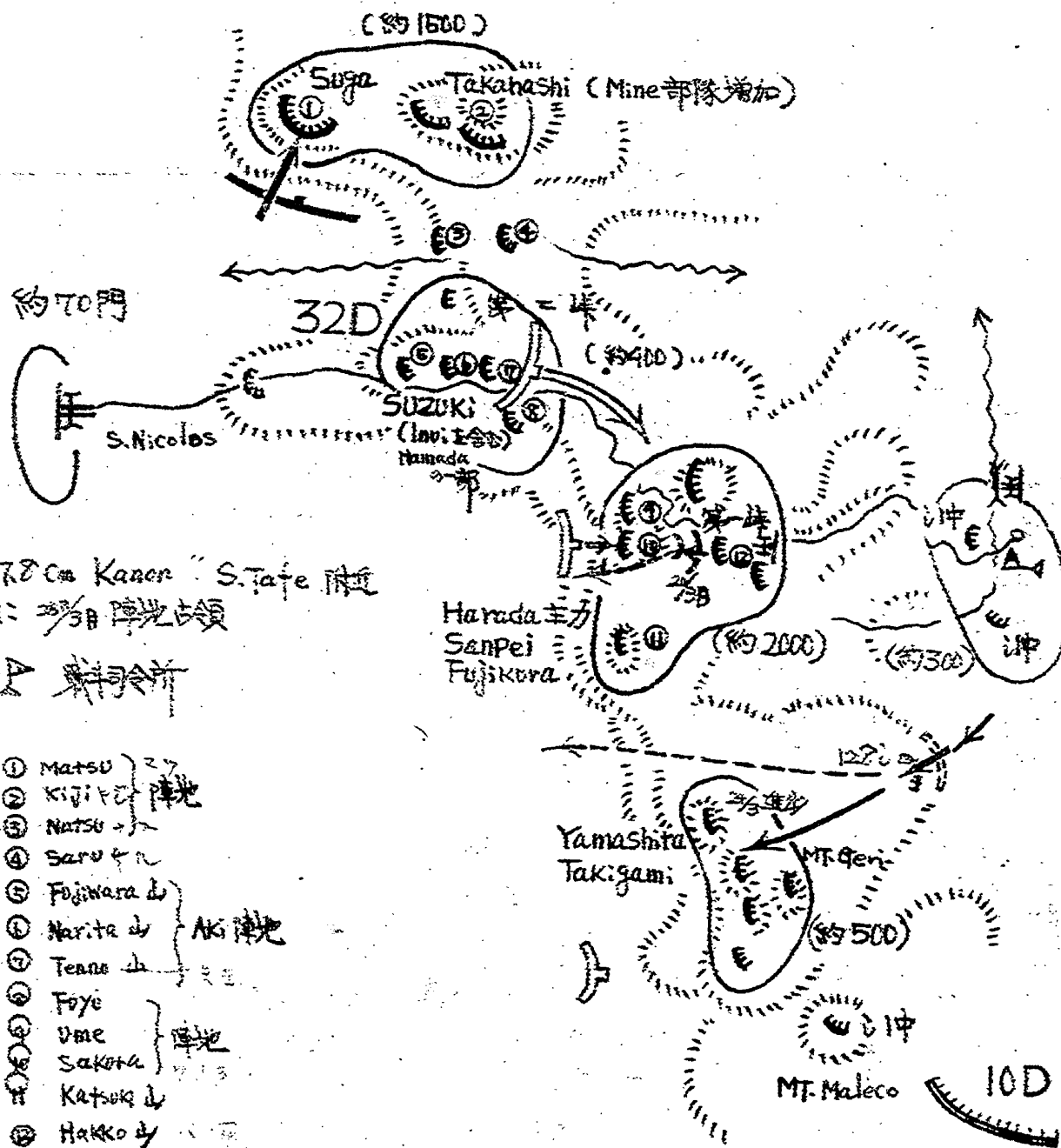
三月十日頃より三月二十五日頃迄に於ける我師團態勢

○ Ishikawa (殆ど戦力なし)



23D 配属

地形
山地にて斜面急峻
峠附近森林地帯なり



1. 178 Co Kanon " S. Tafe 附近に 3/5 砲台占領
2. 3/5 砲台新

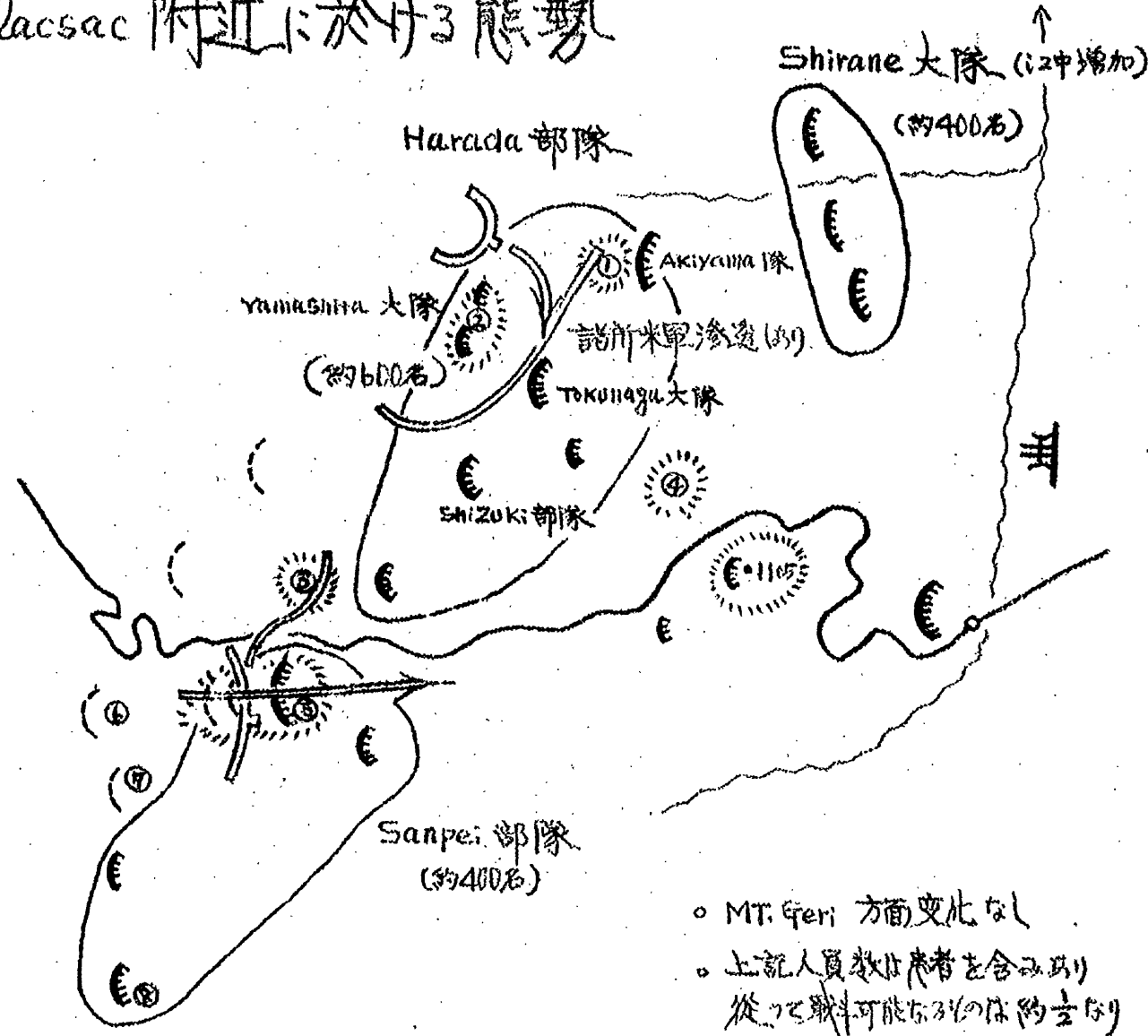
- ① Matsu } 砲台
- ② Kiji } 砲台
- ③ Natsu } 砲台
- ④ Saru } 砲台
- ⑤ Fujiwara } 砲台
- ⑥ Narita } AKI 砲台
- ⑦ Tenna } 砲台
- ⑧ Foye } 砲台
- ⑨ Ume } 砲台
- ⑩ Sakata } 砲台
- ⑪ Katsuki } 砲台
- ⑫ Hakko } 砲台

1231

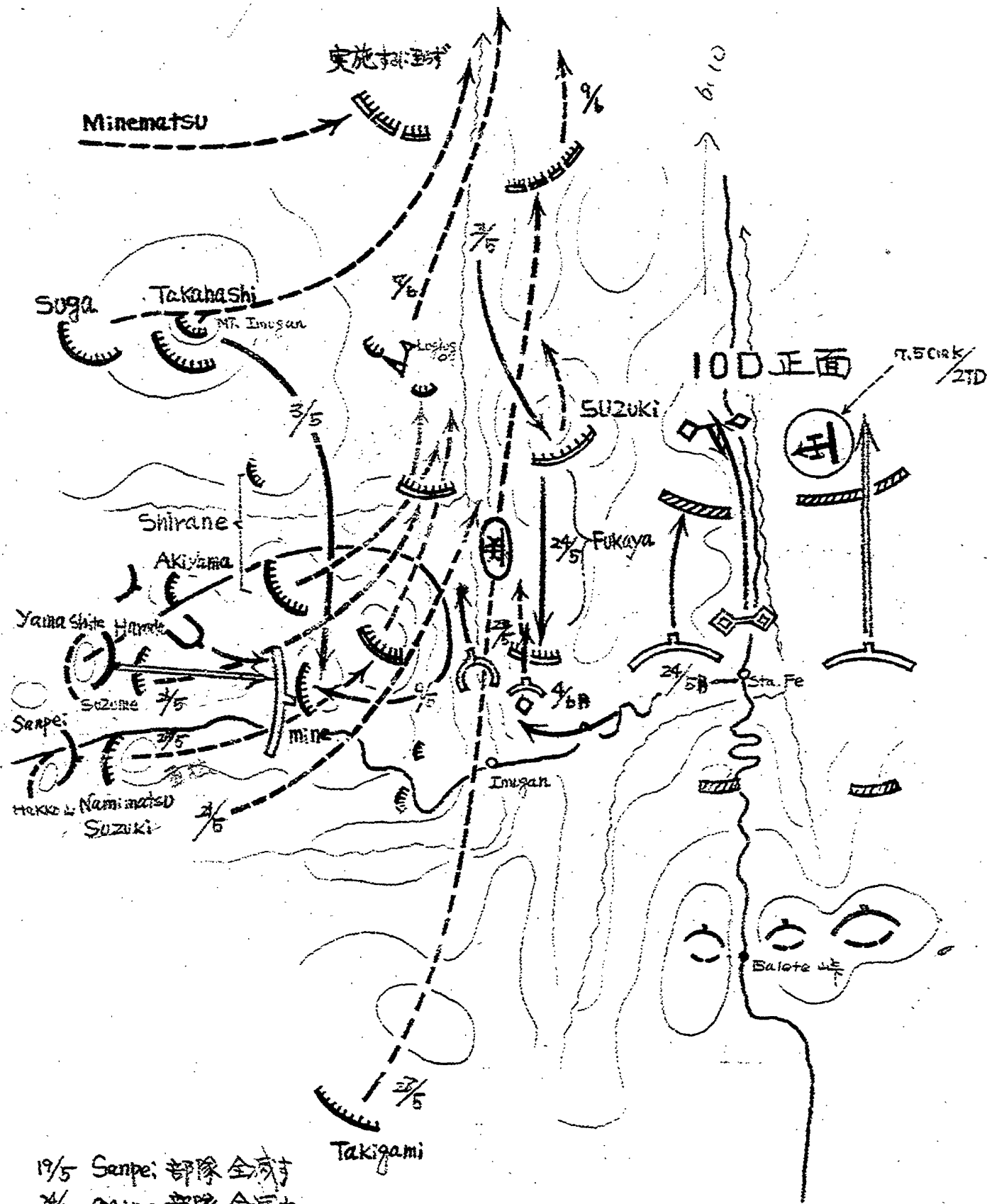
附圖 No 6

一九四五年四月末 Salacsac 附近に於ける態勢

- ① 東 shishi 陣地
- ② Suzume 陣地
- ③ Jim m 山 振松(沼)
- ④ Neko 陣地
- ⑤ Hakko 山
- ⑥ Ume 陣地
- ⑦ sakura 陣地
- ⑧ Katsuki 山



附圖 No. 7



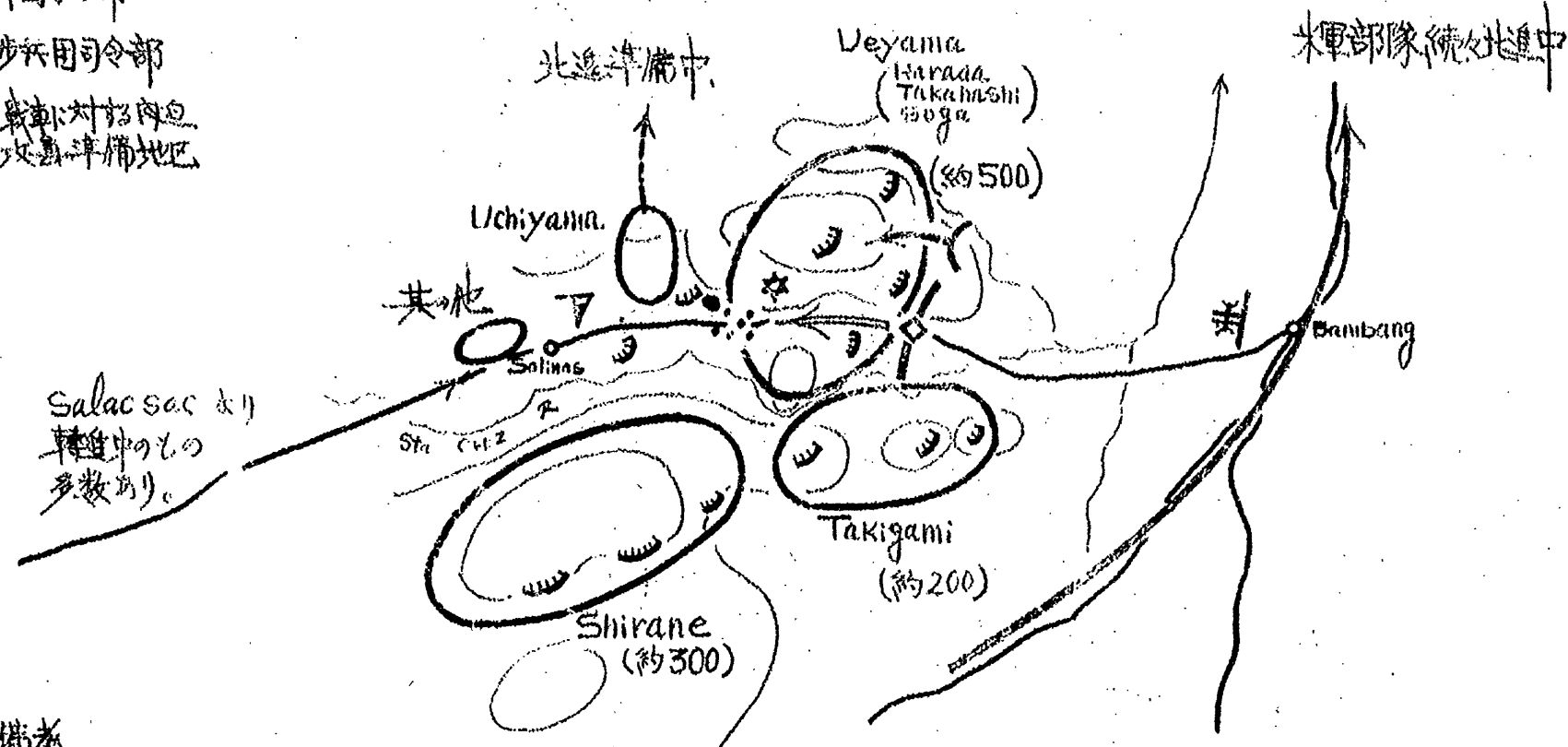
19/5 Senpei 部隊全滅
 24/5 Mine 部隊全滅
 29/5 32D 榴弾砲

1233

附圖 No 8

一九四五年六月十五日頃に於ける態勢要圖

- ▲ 師団司令部
- ☆ 歩兵用司令部
- ⋮ 戦線対招肉迫
攻勢準備地区

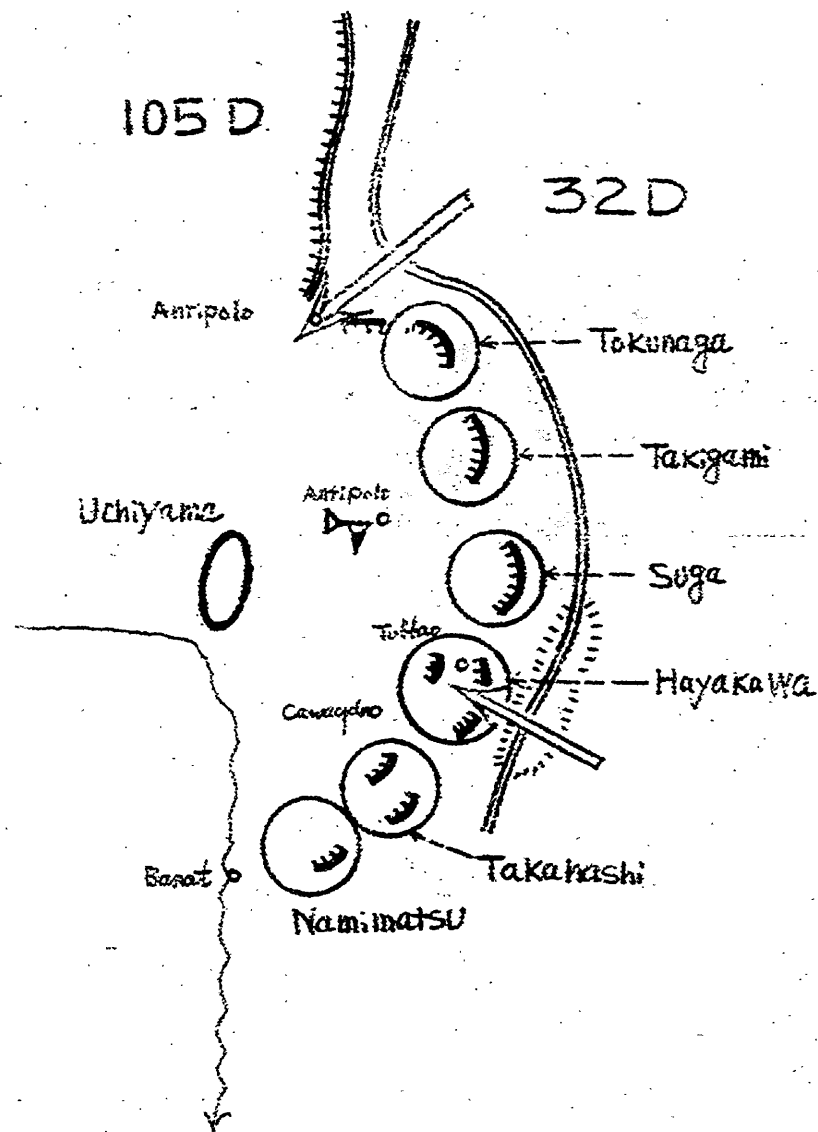


備考

- 別に Bambang - Bagabag 方面には 師団に復帰出来なかった SUZUKI 部隊 (約400) あり (新部隊)
- 人員中には 患者及落伍者を含み 効戦力 約50%。

附圖 No. 9

入月十五日に於ける態勢



1235